



武庫の宝

令和6年 9月号



三田市立武庫小学校長 大向 勲

昨年度に引き続き、今年も記録的な猛暑が続いた夏休みが終わり、子どもたちが学校に戻ってきます。今から朝の校門で「ふたことあいさつ」を交わすのが楽しみでなりません。

8月1日にミマモルメで「溝さらえボランティアのお礼」をさせていただきました。このことは始業式で子どもたちにも伝えました。そして、ビオトープ池の修繕を含めた中庭の工事についても伝えました。そのどちらも「見えない価値」を伝えることが大切だと思うからです。

そして、子どもたちには「そんな価値発見をすることは『幸せ』につながるね。この「幸せ」は『ウェルビーイング』と言って、今、世の中でとても大切にしようと言われているんだよ。」と、はじめて「ウェルビーイング」という言葉を伝えました。さらに私自身のチャレンジとして「ウェルビーイングの魔法」という絵本の読み聞かせを始めました。



<あれ？何か景色が違う…ここからも「価値発見」！>

近年、「ウェルビーイング」という言葉が注目されています。直訳すれば「幸福」「健康」という意味です。「ハッピー」や「ハピネス」が感情的で一瞬しか続かない短いスパンの「幸せ」なら「ウェルビーイング」は持続的な幸せと言われています。私はこの武庫小学校に関わる全ての人が「この学校、この地域が好き」と言える幸せな「ウェルビーイング」な学校になることを願っています。

4月に武庫小に着任して以来、様々な場面で「ウェル」な「ヒト・モノ・コト」と出会い、感激することがたくさんありました。2学期は子どもたちにとって「チャレンジ」の2学期です。「やってみよう！」と前向きに挑戦することは「幸せ」につながります。学校でのたくさんの「やってみよう」を含めた「ウェル」な瞬間をこれからもお伝えしていきたいと思います。そのためにはやはり「価値発見」が大切です。保護者の皆様、地域の皆様にもどうかお力添えよろしくお願いたします。